

特定施設使用（変更）届出書

年 月 日

倉 敷 市 長 様

申請人 氏名又は名称及び住所
並びに法人にあっては、
その代表者の氏名

瀬戸内海環境保全特別措置法第 7 条第 2 項（第 8 条第 4 項、第 9 条）の規定により、特定施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		※整理番号	
工場又は事業場の所在地		※受理年月日	年 月 日
特定施設の種類		※施設番号	
有害物質使用特定施設の該当の有無	有 ☐ 無 ☐	※審査結果	
△特定施設の構造	別紙 1 のとおり。	※備 考	
△特定施設の使用の方法	別紙 2 のとおり。		
△汚水等の処理の方法	別紙 3 のとおり。		
△排出水の量（排水系統別の量を含む。）	別紙 4 及び別紙 5 の とおり。		
△排出水の汚染状態 （排水系統別の汚染状態を含む。）			
△用水及び排水の系統	別紙 6 のとおり。		
△特定施設の設備 （有害物質使用特定施設の場合に限る。）	別紙 7 のとおり。		

- 備考 1 特定施設の種類の欄には、当該特定施設が水質汚濁防止法施行令（昭和 46 年政令第 188 号）別表第 1 又はダイオキシン類対策特別措置法施行令（平成 11 年政令第 433 号）別表第 2 のいずれに該当するか、並びに当該別表に掲げる当該特定施設の号番号及び名称を記載すること。
- 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙 7 を提出することを要しない。
- 3 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- 4 ※印の欄には、記載しないこと。
- 5 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 6 申請書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格 A 4 とすること。
- 7 氏名（法人にあってはその代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあってはその代表者）が署名することができる。

申請事項内容

事業場名 :

担当者氏名 :

(緊急連絡用の電話番号その他緊急時における連絡方法)

申請の概要 (汚濁負荷量の増減についても記載すること)

事 項		添付の有無
特定施設の構造	別紙 1	有：無
特定施設の使用の方法	別紙 2	有：無
汚水等の処理の方法	別紙 3	有：無
排出水の汚染状態及び量	別紙 4	有：無
排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙 5	有：無
用水及び排水の系統	別紙 6	有：無
特定施設の設備	別紙 7	有：無
工程別排水系統図	添付資料	有：無
特定排出水、冷却水等の総括表	添付資料	有：無
特定事業場内排水系統図	添付資料	有：無
総量規制基準総括表	添付資料	有：無
特定事業場の周辺見取図		有：無
特定施設の構造図		有：無
特定施設の配置図		有：無
汚水処理施設の設計計算書		有：無
汚水処理施設の構造図		有：無
ダイオキシン類発生抑制のための構造上の 配慮及び運転管理に関する事項		有：無
その他 ()		
()		

添付のないものは、前回の申請 (年 月 日付け) と同じである。

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号		
特定施設号番号及び名称		
型 式		
構 造		
主要寸法		
能 力		
配 置		
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

備考 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号					
特定施設番号 及び 名 称					
設 置 場 所					
操 業 の 系 統					
使用時間間隔					
1日当たりの使用時間					
使 用 の 季 節 的 変 動					
原材料（消耗資 材を含む。）の 種類、使用方法 及び1日当たり の使用量					
汚水等の 汚染状態	種類・項目	通 常	最 大	通 常	最 大
	p H				
	B O D (mg/L)				
	C O D (mg/L)				
	S S (mg/L)				
	油分 (mg/L)				
	T－N (mg/L)				
	T－P (mg/L)				
	大腸菌数 (CFU/mL)				
汚水等の量 (m ³ /日)		通 常	最 大	通 常	最 大
その他参考と なるべき事項					

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号									
処理施設の設置場所									
設 置 年 月 日		年 月 日				年 月 日			
工事着手予定年月日		年 月 日				年 月 日			
工事完成予定年月日		年 月 日				年 月 日			
使用開始予定年月日		年 月 日				年 月 日			
種 類 及 び 型 式									
構 造									
主 要 寸 法									
能 力									
処 理 の 方 式									
処 理 の 系 統									
集水及び導水の方法									
使用時間間隔									
1日当たりの使用時間									
使用の季節変動									
消 耗 資 材 の 1 日 当たりの用途別使用量									
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通 常		最 大		通 常		最 大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	p H								
	B O D (mg/L)								
	C O D (mg/L)								
	S S (mg/L)								
	油分 (mg/L)								
	T - N (mg/L)								
	T - P (mg/L)								
	大腸菌数(CFU/mL)								
	量 (m ³ /日)								
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法									
排出水の排出方法									
その他参考となるべき事項									

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

2 排水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

排水の汚染状態及び量

排出口名称 (番号)					
排水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH				
	BOD (mg/L)				
	COD (mg/L)				
	SS (mg/L)				
	油分 (mg/L)				
	T-N (mg/L)				
	T-P (mg/L)				
	大腸菌数(CFU/mL)				
	排水の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常
その他参考となるべき事項					

備考 排水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

排水水の排水系統別の汚染状態及び量

								指定項目の別		化学的酸素要求量		
	業種その他の区分	汚染状態 (mg/L)		水量 (m ³ /日)					汚濁負荷量 (kg/日)			
		通常	最大	通常	最大	Q _{C0}	Q _{Ci}	Q _{Cj}	通常	最大		
特定排水												
	合計											
特定排水以外の排水	種類及び用途	汚染状態 (mg/L)		水量 (m ³ /日)		汚濁負荷量 (kg/日)						
		通常	最大	通常	最大	通常	最大					
	合計											
その他参考と												

- 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
- 2 汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、化学的酸素要求量について記載すること。

排水水の排水系統別の汚染状態及び量

								指定項目の別	窒素含有量	
	業種その他の区分	汚染状態 (mg/L)		水量 (m ³ /日)					汚濁負荷量 (kg/日)	
		通常	最大	通常	最大	Q _{n0}	Q _{ni}	Q _{nj}	通常	最大
特定排水										
	合計									
特定排水以外の排水	種類及び用途	汚染状態 (mg/L)		水量 (m ³ /日)		汚濁負荷量 (kg/日)				
		通常	最大	通常	最大	通常	最大			
	合計									
その他参考と										

- 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
- 2 汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、窒素含有量について記載すること。

排水水の排水系統別の汚染状態及び量

								指定項目の別	りん含有量		
	業種その他の区分	汚染状態 (mg/L)		水量 (m ³ /日)					汚濁負荷量 (kg/日)		
		通常	最大	通常	最大	Q _{p0}	Q _{pi}	Q _{pj}	通常	最大	
特定排水											
	合計										
特定排水以外の排水	種類及び用途	汚染状態 (mg/L)		水量 (m ³ /日)		汚濁負荷量 (kg/日)					
		通常	最大	通常	最大	通常	最大				
	合計										
その他参考と											

- 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
- 2 汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、りん含有量について記載すること。

用水及び排水の系統

用水及び排水の系統			
用 途 別 用水使用量	用 途	使 用 水	用水使用量（m ³ /日）

特定施設の設備

工場又は事業場における施設番号		
特定施設番号及び名称		
設 備		
構 造		
主 要 寸 法		
配 置		
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

- 1 有害物質使用特定施設に該当しない場合には、本様式を提出することを要しない。
- 2 配置の欄には、当該特定施設の設備の配置を記載すること

特定排出水、冷却水等の総括表

特定排出水、 冷却水等の区分	産業分類 (細分類)	業種区分番号	排出水の量(m ³ /日)		備 考
			通 常	最 大	
合 計					

添付資料

化学的酸素要求量に係る総量規制基準総括表（ 年度）

排水口 番 号	業種区分その 他の区分番号	化学的酸素要求量		排出水の量(m ³ /日)		汚濁負荷量(Kg/日)	
		区 分	C c (mg/L)	通 常	最 大(Qc)	通 常	最 大(Lc)
			合 計				

- (注) 1 化学的酸素要求量欄は、年岡山県告示第 号別表第3欄に掲げる区分(1)、(2)又は(3))及びその値とする。
- 2 業種区分ごとの汚濁負荷量は、小数点以下2桁(3桁目を四捨五入)までを記載し、合計欄は、小数点以下1桁(2桁目を四捨五入)とする。

添付資料

窒素含有量に係る総量規制基準総括表（ 年度）

排水口 番 号	業種区分その 他の区分番号	窒素含有量		排出水の量(m ³ /日)		汚濁負荷量(Kg/日)	
		区 分	Cn(mg/L)	通 常	最 大(Qn)	通 常	最 大(Ln)
			合 計				

- (注) 1 窒素含有量欄は、年岡山県告示第 号別表第 3 欄に掲げる区分
(1)又は(2))及びその値とする。
2 業種区分ごとの汚濁負荷量は、小数点以下 2 桁 (3 桁目を四捨五入) までを記載し、
合計欄は、小数点以下 1 桁 (2 桁目を四捨五入) とする。

添付資料

りん含有量に係る総量規制基準総括表（ 年度）

排水口 番 号	業種区分その 他の区分番号	りん含有量		排出水の量(m ³ /日)		汚濁負荷量(Kg/日)	
		区 分	C p(mg/L)	通 常	最 大(Qp)	通 常	最 大(Lp)
			合 計				

- (注) 1 りん含有量欄は、年岡山県告示第 号別表第3欄に掲げる区分
((1)又は(2))及びその値とする。
2 業種区分ごとの汚濁負荷量は、小数点以下3桁(4桁目を四捨五入)までを記載し、
合計欄は、小数点以下2桁(3桁目を四捨五入)とする。